

英語科

I 英語科の学習目標

- (1) 外国語の学習を通じて、外国語とその外国語が使われている文化背景について学習する。
- (2) 外国語の学習を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育成する。
- (3) 外国語の学習を通じて、情報や意向を理解し、自己表現する実践的なコミュニケーション力を育成する。

II 英語科の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	《英語・英会話・英文法》小学校の学習内容を体系的な知識・技能に移行する。 【言語運用スキル】アルファベットの書き方、辞書の使い方、音声と文字のつながり、日常的なあいさつ、シンプルな会話・スピーチの聞き取り、簡単な自己表現、簡単な道案内 【言語材料】be動詞・一般動詞の肯定文/否定文/疑問文、疑問詞を用いた疑問文、命令文、場所を表す前置詞、基本的な動名詞・過去時制(be動詞/一般動詞)、代名詞、三人称単数現在形の表現・助動詞(can/need to)、現在進行形、感嘆文、不定詞(want to)、SVC(look)	<ul style="list-style-type: none"> ・音声教材などで聞き取り練習 ・スキットの作成、発表 ・文法・語法の演習および先行的学習 ・日記文や手紙文などの基本練習 ・Show & Tellなどによる口頭発表活動 ・英検全員受検【4級の取得を目指す】 ・GTEC受験
	2年	《英語・HAPIE》基本的な英語運用能力を伸ばす 【言語運用スキル】学習を深める辞書の使い方、英語の文構造、品詞、即興の会話の継続、聞き手を意識したスピーチ・会話、道案内、場面に応じた依頼、電話でのやり取り、手紙の書き方 【言語材料】未来の表現、五文型、接続詞(because/if/when/that)、助動詞(may/will/must/shall/have to/過去)、不定詞、動名詞、疑問詞+to、比較表現、受け身	<ul style="list-style-type: none"> ・CD教材などで聞き取り練習 ・文法・語法の演習および先行的学習 ・日記文やエッセイ文の基本練習 ・副読本を読む ・英文の暗唱などの口頭発表活動 ・英検全員受検【3級以上の取得を目指す】 ・GTEC受験
	3年	《英語・HAPIE》基本的な英語運用能力を完成し、高校への準備に入る 【言語運用スキル】聞き手を意識した社会的な話題への論理的な意見構築、相手の意見を受けての自己主張、シンプルなディベート、シンプルな要約 【言語材料】現在完了/完了進行形、SVOC、It for to、原形不定詞、間接疑問文、後置修飾、現在/過去分詞、接触節、関係代名詞、仮定法	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションを中心とした発展的活動 ・副読本を読む ・文法・語彙（ごい）・表現力強化、聞き取り練習 ・高校英語への準備 ・英検受検【準2級以上の取得を目指す】 ・GTEC受験 ・英文エッセイを完成
高校段階	4年	《英語コミュニケーションⅠ》《論理表現Ⅰ》 中学時代に学習した英語能力をさらに高める 【英語で聞いたことを素早く処理する】 【様々なジャンルの英語を正確に読みとる】 【言いたいことが言えるようにする】 【自分の意見を持って書く表現力をつける】	<ul style="list-style-type: none"> ・副読本を読む ・文法の演習・まとめ ・スピーチ・ダイアログを行う ・語彙（ごい）・表現力強化 ・やさしいニュースを聞く ・GTEC受験
	5年	《英語コミュニケーションⅡ》《論理表現Ⅱ》《HAPIE》 5年終了時まで共通テストで7割の得点が取れるようにする 【英語コミュニケーション能力をさらに伸ばす】 【論理展開などに注意して文章を理解する】 【習った語法を使い、言いたいことが書ける】 【テーマを決め論理的な説得力のある文を書く】 【発表の仕方を学び、自分の意見を発表する】	<ul style="list-style-type: none"> ・副読本を読む ・文法・語法の演習 ・構文の定着 語彙（ごい） 増強 ・速読できる力をつける ・いろいろな英語を聞く ・プレゼンテーションを行う ・GTEC受験
	6年	《英語コミュニケーションⅢ》《論理表現Ⅲ》《HAPIE》 大学入試問題（国公立2次・私大）の演習を行う 【長文理解に加えて、背景を学ぶ】 【いろいろなテーマについて内容豊かに書く】 【かなりの分量を速く読む技術を習得する】 【話し合ったり、討論したりする】	<ul style="list-style-type: none"> ・文法・語法・構文の演習 ・語彙増強 ・読解力の向上 ・リスニングテストで聞き取り練習 ・各自の必要に応じた力の伸長 ・プレゼンテーションを行う ・英語論文の完成

教科名 英語科
 科目名 英語
 対象 1学年全員

I 学習到達目標

- 1 初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。
- 2 英語の基本的な表現を学習し、それを使って言いたいことを相手に伝えたり、相手の意見を聞いたりする能力を身に付ける。
- 3 英語が使われている国の人々や生活について学習し、日本との違いや共通点を理解する。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 2クラスを4展開または3クラスを5展開して習熟度クラス編成による授業を行う。
- 2 副教材を活用し、基礎を固めると共に、発展的な学習を行う。
- 3 定期的に単語テストや小テスト（単元テスト/Dictationテストなど）を行う。

III 教科書・補助教材

教科書 「New Horizon 1 English Course」東京書籍
 補助教材 「EIGO NO PARTNER」正進社、「5 stage 英文法完成 book 1」数研出版、「新 ユメタン0」アルク
 「マーフィーのケンブリッジ英文法」ケンブリッジ大学出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		考 査	「教科書」の学習内容			副教材・その他の学習内容
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト		「5 stage Unit00-01」	1	
	4	1 学期 中 間 考 査	Unit 0, 1, 2 ・小学校で習った表現を使って、やりとりをしたり、単語を読んだり書き写したりする。 ・be動詞・一般動詞を使って、自分が普段よくすることや、できることを伝えることができる。 ・疑問詞を使って、身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。 ・助動詞canを使って自分ができていることを表現し、また相手に許可を求める表現can Iなどを使って会話する。 Classroom English / Self-Introduction 【英会話】 ・授業内で使われる英語に慣れる。簡単な自己紹介を行う ・Phonics/ 基本単語 / 名詞の単複（演習）[英文法]	Dictation ・教科書本文の学習後Dictationテストを行う。 単元テスト 教科書単元終了後に、教科書の表現・文法を確認。	22 26	
	6	1 学期 期 末 考 査	Unit 3・4・5, ・疑問詞や命令文を使って、相手に指示したり、時刻や好きなものの、数などをたずねたりすることができる。 ・前置詞や現在進行形を使って、行った場所や、そこで楽しんだことなどについて話すことができる。 What animal am I? / My summer plan 【英会話】 ・平易の表現を用いて考えを伝える。 ・Phonics / 基本単語 / 代名詞（演習）[英文法]	Dictation/単元テスト/単語帳 ・毎週50~100個ずつ進めていく。英文法の時間で単語テストを実施する。	24 12	
	7					
	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	1学期の復習 特に『be動詞・一般動詞、疑問詞を使った疑問文を重点的に』		1	
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	Unit 6, Let's Talk 1. ・三人称単数現在形の『S』を理解し、使う。 Summer Memories / My favorite person 【英会話】 ・平易な表現で過去の出来事、第三者について述べる ・単語 / can, 現在進行形（演習）[英文法]	Dictation/単元テスト/単語帳	22 22	
	10	2 学期 期 末 考 査	Unit 7, 8, 9, Let's Listen 1, Let's Talk 2, Let's write 1 ・代名詞を使って自分と相手以外の人について話したり、だれのものかをたずねたりすることができる。 ・現在進行形を使って今自分がしていることを表現できる。 ・want toを使い、自分がしたいことや、する必要のあることについて説明したり、たずねたりすることができる。 スキット/文化学習【英会話】 ・グループでの生徒同士で英語圏の季節行事を学ぶ 単語 / 冠詞, 前置詞（演習）[英文法]	一般動詞過去形プリント ・中学で覚えておくべき動詞の過去形を厳選して選び、小テストで定着を図る。 単語帳/Dictation/単元テスト	25 25 17	
	11					
	12					
	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	1～2学期の総復習【動詞（三単現のS、過去形、現在進行形、前置詞、副詞中心）】	文法テキスト	1	
三 学 期	1	3 学期 学 年 末 考 査	Unit 10, 11, Let's Listen 2, 3, Let's Read 1,2, Let's Talk 3,4, Let's Write 2 ・様々な一般動詞の過去形をマスターし、自分の冬休みに行った事を英語で書き、発表する。 ・長い文章に触れ、その内容について理解する。 ・単語 / 英語の語順, 一般動詞の過去形 [英文法]	文法テキスト ・文法テキストを用いて、1年の復習を行う。 単語帳/Dictation/単元テスト	16 12 8	
	2					
	3					
					計234	
評 価	・学期ごとの評価、学年末の評定：「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ①定期考査（各学期：年間5回）、②宿題テスト（夏休み、冬休み、年間2回）、③単元テスト、Dictationテスト ④小テスト（単語・フレーズ） ⑤提出物（宿題ノート、課題プリント）、 ⑥学習の様子（授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等）					

教科名 英語科
 科目名 英語
 対象 2学年全員

I 学習到達目標

- 1 基本的な表現・文法事項を学習し、自分の意見や考えを英語で伝える力、相手の意見や考えを英語で聞き取り理解する力を付ける。
- 2 英語の様々な読み物から新しい知識や情報を読み取る力を付ける。
- 3 自己紹介や日本文化の紹介だけでなく、世界の国々の文化や人々の生活について学び、考える力を付ける。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 年間授業時数 156 時間
- 2 2クラスを4展開して習熟度クラス編成による授業を行う。
- 3 副教材を活用し、基礎を固めると共に、発展的な学習を行う。
- 4 定期的に単語テストや小テスト（Dictation Test、単元テストなど）を行い、基礎文法事項の定着を図る。

III 教科書・補助教材

教科書 「NEW HORIZON English Course 2」東京書籍
 補助教材 「5 stage 英文法完成 book 2」数研出版 「EIGO NO PARTNER 2」正進社 「Listening Laboratory Basic α」数研出版
 「新 ユメタン①・②」アルク 「マーフィーのケンブリッジ英文法」ケンブリッジ大学出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト	1年生の総復習＋長文読解などの応用問題	1	
	4	1 学期 中 間 考 査	『Unit0・Unit1』 ・過去形や過去進行形を用いた文、There is [are] ... を使用して発表し、感想を述べる。 ・be going to や助動詞 will を用いた文、SVOO、 SVOC を使用して「質問する、申し出る、説明する、 描写する、報告する」などの表現を身につける。	18 12	『ユメタン』 ・毎週50個ずつ進めていく。 『Dictationテスト』 ・教科書の本文が終わった次の授業 に、Dictationテストを行う。 『単元テスト』 ・教科書単元終了後の確認テスト
	6	1 学期 期 末 考 査	『Unit2・Unit3』 ・接続詞 when, if, that, because の働きを理解し、 「発表する、仮定する、招待する、質問する、説明す る」などの表現を身につける。 ・不定詞を理解し、「説明する、報告する、質問する、 発表する」などの表現を身につける。	12 12	『ユメタン』 『Dictationテスト』 『単元テスト』
	7				
	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	1学期の復習、長文読解問題、英単語	1	
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	『Unit4』 ・have to, 助動詞 must, 動名詞を理解し、「質問す る、繰り返す、約束する、質問する、報告する、苦情 を言う」などの表現を身につける。	14 8	『ユメタン』 『Dictationテスト』 『単元テスト』
	10	2 学期 期 末 考 査	『Unit5・Unit6』 ・〈疑問詞＋to〉を用いた文や、〈主語＋be動詞＋形 容詞＋that〉を理解し、「質問する、説明する、発表 する、意見を言う」などの表現を身につける。 ・比較表現を理解し、「質問する、意見を言う、礼を 言う、発表する、報告する、褒める」などの表現を身 につける。	10 16 14	『ユメタン』 『Dictationテスト』 『単元テスト』
	11				
	12				
	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	1~2学期の総復習 【助動詞・動名詞・不定詞・比較表現】	1	
三 学 期	1	3 学期 学 年 末 考 査	『Unit7』 ・受け身を理解し、「説明する、質問する、繰り返す、 発表する」などの表現を身につける。	12 15 10	『ユメタン』 『Dictationテスト』 『単元テスト』
	2				
	3				
				計 156	
評 価	<p>・学期毎の評価、学年末の評定：「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。</p> <p>①定期考査（各学期、年間5回） ②宿題テスト（春休み、夏休み、冬休み、年間3回） ③Dictationテスト ④小テスト（単語・単元） ⑤提出物（宿題ノート、課題プリント） ⑥学習の様子（授業参加態度、提出物状況）</p>				

教科名 英語科
 科目名 HAPiE(Hakuo Academic Program in English)
 対象 2学年全員

I 学習到達目標

- 1 相手の考えを理解すると共に、自分の考えを表現し、相手に効果的に伝達する力を向上させる。
- 2 第1学年の英語で習得した簡単な英語表現を用いて、会話にとどまらず自ら発信する英語の基礎を体得する。
- 3 多くの人の前で話をする姿勢と個人間でのやりとりを続けようとする姿勢を身に付ける。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 年間授業時数39時間
- 2 1クラス2展開の授業
- 3 ALTとのチームティーチングを行い、きめ細かい指導を行う。

III 教科書・補助教材

教科書 「NEW HORIZON English Course 2」東京書籍
 補助教材

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト	実施しない		
	4	1 学期 中 間 考 査	Impromptu Speech 春休みの出来事を準備なしで紹介する。 Show & Tell Speech (My Town) 具体物を見せながらのスピーチ。	4 4	
	6	1 学期 期 末 考 査	日本文化紹介プロジェクト ・外国からの訪問者を想定し、グループで日本文化を紹介する。 教科書「Stage Activity1」 好きなことや学んだことについて尋ねたり伝えたりする。	4 3	
	7				
二 学 期	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	実施しない		
	9	2 学期 中 間 考 査	日本文化紹介プロジェクト Speech Skills ・聞き手を意識して、伝わりやすいスピーチの構成、話し方を学習して、スピーチに生かす。	3 3	
	10	2 学期 期 末 考 査	道案内 ・道案内の表現を学習し、スキット発表 My ideal trip plan ・聞き手を意識して、伝わりやすいスピーチの構成、話し方を学習して、スピーチに生かす。 教科書「Stage Activity2」 クラスで人気のあるものを調べて、その結果を発表する。	2 4 3	
	11 12				
三 学 期	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	実施しない		
	1	3 学期 学 年 末 考 査	In-class Research and Presentation ・クラス内調査を実施してデータを用いたプレゼンテーションを実施する。 教科書「Stage Activity3」 自分の街のおすすめの場所について書き、相手にその場所の特徴や良い点を伝える。	3 4 2	
	2				
	3				
				計 39	
評 価	学期毎の評価、学年末の評定：「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の2つの観点から総合的に評価を行う。 ①授業内発表（スピーチ、スキット、プロジェクト発表） ②提出物（宿題ノート、課題プリント） ③学習の様子（授業参加態度、提出物状況、主体的に学習に取り組む態度など）				

教科名 英語科
 科目名 英語
 対象 3学年全員

I 学習到達目標

- 1 基本的な表現・文法事項を学習し、自分の意見や考えを英語で伝える力、相手の意見や考えを英語で聞き取り理解する力を付ける。
- 2 英語の様々な読み物から新しい知識や情報を読み取る力を付ける。
- 3 自己紹介や日本文化の紹介だけでなく、世界の国々の文化や人々の生活について学び、考える力を付ける。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 年間授業時数156時間
- 2 2クラスを4展開して習熟度クラス編成による授業を行う。
- 3 補助教材を活用し、基礎的・基本的内容を定着させると共に、発展的な学習を行う。
- 4 定期的に単語テストや小テストを行い、語彙の増強や文法事項の定着を図る。

III 教科書・補助教材

教科書 「New Horizon 3 English Course」東京書籍
 補助教材 「5 stage 英文法完成 book3」数研出版 「EIGO NO PARTNER 3」正進社 「Listening Laboratory Basic β」数研出版
 「Jigsaw INTRO」センゲージラーニング
 「Reading for Speed and Fluency 1 2nd edition」Compass Publishing
 「新 ユメタン0・1」アルク

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト	2年次の総復習	1	
	4	1 学期 中 間 考 査	Unit 0,1,2 / Let's Write1 / Let's Listen 1 ・現在完了（経験・完了・継続）を用いて、これまでの経験や、ずっとすきなこと、これまで取り組んできたことを伝えることができる。 ・SVOC / SVOOの文型を用いて、気持ちを伝える手紙を書いたり、自分の意見を述べたりすることができる。	18	教科書の本文が終わった次の授業に行く。 ・ユメタンテスト 週1回、範囲を設定して行う。 ・5 stage 英文法完成 book 3
	5		12		
	6	1 学期 期 末 考 査	Let's Listen2 / Unit 3 / Let's Write2 / Let's Read ・It is+～（for-）+to不定詞や原形不定詞を用いて自分の考えや意見を書くことができる。 ・適切な談話標識を使って、社会的な話題について理由や根拠を含めて意見を書くことができる。	12	12
7					
	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	1 学期の総復習、長文読解問題、英単語等	1	・5 stage 英文法完成 book 3 ・その他教材
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	Let's Listen3 / Unit4 / Let's Talk2 / Let's Listen4 ・間接疑問文、現在・過去分詞を用いて防災について説明することができる。 ・適切に助動詞を用いて相手の立場に立って具体的な提案をしながら申し出たり、応じたりする。 ・ニュース音声を聞き概要や要点を理解することができる。	14	8
	10				
	10	2 学期 期 末 考 査	Unit5, 6 / Let's Write3 / Let's Listen5 ・接触節、関係代名詞を用いて人やものについて詳しい情報を加えて説明することができる。 ・日本や郷土の文化を紹介することができる。 ・仮定法を用いて架空の状況について説明したり、感想や意見を述べたりすることができる。	10	16
	11		16		
12		14			
	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	1～2 学期の総復習	1	・5 stage 英文法完成 book 3 ・その他教材
三 学 期	1	3 学期 学 年 末 考 査	Let's Talk3 / Let's Read 2, 3 ・相手の意見を受けて自分の主張を述べることができる。 ・主張とその理由を明確にしながらいびべートをすることができる。 ・社会問題や著名なスピーチを読み、理解し、概要を自分の言葉で伝えなおすことができる。	12	15
	2		15		
	3		10		
計 156					
評 価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ①定期考査（各学期、年間5回） ②宿題テスト（年間3回） ③Dictationテスト ④小テスト ⑤学習の様子（教師とのやり取り、授業参加態度、関心・意欲等） ⑥発表の評価 ⑦提出物（単元目標シート等）				

教科名 英語科
 科目名 HAPIE (Hakuo Academic Program in English)
 対象 3 学年全員

I 学習到達目標

1. 自分の考えや意見を整理し、的確に伝える表現力を養う。
2. 聞き手の立場になって、相手に効果的に伝える力の向上をはかる。
3. 学んだ英語表現を駆使し、英語によるプレゼンテーション能力の向上をはかる。

II 授業の進め方 (授業形態等)

1. 年間授業時数35時間
2. 1 クラス 2 展開授業
3. ALTとのチームティーチングを行い、きめ細かい指導を行う

III 教科書・補助教材

教科書 「New Horizon English Course 3」 東京書籍
 補助教材 オリジナル教材

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	4		Pair Presentation 他者紹介	4	オリジナル教材
	5			4	
	6		Individual Presentation 東京の伝統工芸品	4	オリジナル教材
7		3			
二 学 期	9		Individual Presentation 伝統工芸品の作成手順	3	オリジナル教材
	10			5	
	11		Individual Presentation 外国人に日本文化を紹介するI	4	オリジナル教材
	12			3	
冬休み 宿題					
三 学 期	1		Group Presentation 外国人に日本文化を紹介するII	3	オリジナル教材
	2			4	
	3			2	
				計 39	
評 価	<p>学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の2つの観点から総合的に評価を行う。</p> <p>①授業内発表の評価 (スピーチ、スキット、プロジェクト等) ②学習の様子 (教師とのやり取り、授業参加態度、関心・意欲等) ③提出物 (スクリプト、課題プリント等)</p>				

教科名 英語科

科目名 英語コミュニケーションⅠ

対象 4学年全員

I 学習到達目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、

- 1 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
- 2 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
- 3 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
- 4 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
- 5 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 週4時間授業を行う。授業形態はクラス単位でペアワーク・グループワークを中心に、オンライン英会話は個別に行う。
- 2 1年間の授業の数156時間。
- 3 3時間は教科書を用いて4技能をバランスよく養成する、1時間はオンライン英会話を実施する。

III 教科書・補助教材

教科書 「Heartening English Communication Ⅰ」 桐原書店
 補助教材 Heartening Advanced Exercises 桐原書店、Cutting Edge Yellow 大学入試長文読解問題集 エミル出版、
 Focus on Listening Pre-Standard エミル出版、NEWSBREAKS for BASIC English Learners 2024 エミル出版

IV 学習計画

	月	学習内容		授業時数	備考	
		考 査	「教科書」の学習内容			副教材・その他の学習内容
一 学 期	4	1学期 中 間 考 査	Lesson 1 Bridging Out the Best in Himself 【言語材料】現在形/過去形/進行形/未来表現 【言語の働き】インタビューをする/成功を友人に伝える	作成プリント 単語テスト 単元テスト	10	
	5		Lesson 2 Hold on, Anzu! 【言語材料】現在[過去]完了形/現在[過去]完了進行形 【言語の働き】質問する/感想を述べる		14	
	6	1学期 期 末 考 査	Speaking Review Task (Lesson 1, Lesson 2) Lesson 3 We Can make a Difference 【言語材料】助動詞/助動詞の過去形 【言語の働き】グループで話し合う/影響を伝える	作成プリント 単語テスト 単元テスト	4 14	
	7		Lesson 4 Creative Problem Solving 【言語材料】様々な受動態/前置詞 【言語の働き】賛成反対を表明する/意見交換する Speaking Review Task (Lesson 3, Lesson 4)		14 4	
	夏休み		宿題テスト 英単語、文法、長文、リスニング			
	二 学 期	9	2学期 中 間 考 査	Lesson 5 Canned Bread to Feed the World 【言語材料】不定詞/SVO+to do/知覚使役動詞+O+動詞原形 【言語の働き】人に勧める/整理して伝える	作成プリント 単語テスト 単元テスト	14
10		Lesson 6 Could We Have a Real Jurassic Park? 【言語材料】動名詞/SVC(分詞) 【言語の働き】意見を言う/説明する Speaking Review Task (Lesson 5, Lesson 6)			14 4	
10		Lesson 7 Behind the Price Tag 【言語材料】SVOC(分詞)/分詞構文 【言語の働き】理由を説明する/講演内容を伝える		作成プリント 単語テスト 単元テスト	14	
11		2学期 期 末 考 査	Lesson 8 The World's Winter Festivals 【言語材料】比較に関する表現/従属接続詞 【言語の働き】インタビューする/論理的に伝える Speaking Review Task (Lesson 7, Lesson 8)		14 4	
12	冬休み		宿題テスト 英単語、文法、長文、リスニング			
三 学 期	1	3学期 学 年 末 考 査	Lesson 9 Talking Trees 【言語材料】関係代名詞[副詞]/関係代名詞非制限用法 【言語の働き】相手の意図を確認しながら意見を言う	作成プリント 単語テスト 単元テスト	14	
	2		Lesson 10 Capturing the Reality of the World 【言語材料】仮定法過去[過去完了]/仮定法を使った表現 【言語の働き】なりきってインタビューする Speaking Review Task (Lesson 9, Lesson 10)		14 4	
	3					
					計 156 (4単位)	
評 価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ①定期考査(各学期、年間5回)、②宿題テスト(夏休み、冬休み、年間2回)、③小テスト(単語・単元)、 ④パフォーマンステスト(書く、話す)、⑤提出物(宿題ノート、課題プリント、週末課題)、 ⑥学習の様子(授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等)					

科目名 論理・表現 I

対象 4学年全員

I 学習到達目標

- 日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、
1. コミュニケーションを支えるものとしての文法の形式・意味・機能に習熟し、必要な場面で適切な文法形式を用いて正しく表現することができる。
 2. 日常的な話題や社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の展開や構成を工夫しながら話して伝え合うことができる。
 3. 日常的な話題や社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の展開や構成を工夫しながら話して伝えることができる。
 4. 日常的な話題や社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の展開や構成を工夫しながら1パラグラフの文章にまとめて書いて伝えることができる。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 週2時間、2クラス3展開の習熟度別で授業を行う。
- 2 年間授業数78時間
- 3 2時間中1時間は日本人教員を中心に教科書を用いて学び、1時間はALTと教科書のコミュニケーション活動を行う。

III 教科書・補助教材

教科書 「Genius English Logic and Expression I ジーニアス総合英語 第2版」大修館
 副教材 A Passage to Paragraph Writing 文理、Listening Laboratory Basic 8 啓林館、
 ジーニアス総合英語 第2版 English Grammar in 27 Lessons 大修館
 ジーニアス総合英語 第2版 English Grammar in 27 Lessons WORKBOOK 大修館
 ジーニアス総合英語 第2版」大修館、マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）ケンブリッジ大学出版

IV 学習計画

	月	学 習 内 容		授業 時数	備考	
		考 査	「教科書」の学習内容			副教材・その他の学習内容
一 学 期	4	1学期 中 間 考 査	Unit1 Introducing Yourself	ジーニアス総合英語 English Grammar in 27 Lessons	2	文法 テスト等
	5		Unit2 Talking about a Family Member or Friend	Unit 1~Unit 7	4	
	5		Unit3 Talking about Your School		4	
			Unit4 Making Plans for the Weekend		3	
	6	1学期 期 末 考 査	Unit5 Sharing Experiences	ジーニアス総合英語 English Grammar in 27 Lessons	5	文法 テスト等
	7		PROJECT 1 Making a Self-Promotion Video Clip	Unit 8~Unit 12	5	
		7		Unit6 Learning Your Way around at School		
			Unit7 Looking Back			
	夏休み	宿題テスト	英単語、文法、長文、リスニング			
二 学 期	9	2学期 中 間 考 査	Unit8 Recommending the Perfect Place to Go	ジーニアス総合英語 English Grammar in 27 Lessons	5	文法 テスト等
	10		Unit9 Staying Healthy	Unit 13~Unit 17	5	
	10		Unit10 Thinking about Your Future		5	
				PROJECT 2 Writing an Article about Your School		
			Unit11 Japanese Educational Practices			
三 学 期	11	2学期 期 末 考 査	Unit12 School Events	ジーニアス総合英語 English Grammar in 27 Lessons	4	文法 テスト等
	12		Unit13 Better Choices	Unit 18~Unit 22	5	
	12		Unit14 A Person You Look up To		5	
			Unit15 Extracurricular Activities			
			PROJECT 3 Planning a Full-Day School Tour			
三 学 期	1	3学期 学 年 末 考 査	Unit16 What Can We Do to Save Resources?	ジーニアス総合英語 English Grammar in 27 Lessons	8	文法 テスト等
	2		Unit17 What If It Had Never Happened?	Unit 23~Unit 27	7	
	2		Unit18 How Can We Protect the Earth?		6	
			Unit19 Can Technology Make the World a Better Place?			
			Unit 20 What Do You Like about Japanese Culture?			
			PROJECT4 Talking about What to Preserve for the Future			
					計 78 (2単位)	
評 価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ①定期考査（各学期、年間5回）、②小テスト（復習テスト）、③提出物（宿題ノート、課題プリント、週末課題）、 ④パフォーマンステスト（書く、話す）、⑤ 学習の様子（授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等）					

教科名 英語科
 科目名 **英語コミュニケーションⅡ**
 対象 5学年全員

I 学習到達目標

日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、
 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

II 授業の進め方（授業形態等）

1 週4時間授業を行う。授業形態はクラス単位でペアワーク・グループワークを中心に、バランスの良い四技能の育成を目指す。
 2 1年間の授業の数156時間。
 3 ALTとのティームティーチングで、生徒が英語を活用する機会をより多く設ける。

III 教科書・補助教材

教科書 「Heartening English Communication II」（桐原書店）
 補助教材 Heartening Advanced Exercises(桐原書店), Focus on Listening Pre-Advanced(エミル出版),
 CROSSBEAM総合問題集 Standard-book 2(エミル出版)

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備 考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト	英単語、文法、長文、リスニング	総復習	1
	4	1 学期 中 間 考 査	Lesson 1 Laughter without Borders 【言語材料】 未来を表す表現／時制の一致 【言語の働き】 インタビューをする／伝える	作成プリント 単語テスト 単元テスト	13
	5		Lesson 2 The Ongoing Voyages of Curry 【言語材料】 未来完了形／前置詞 【言語の働き】 話し合う／伝える	アウトプット発表	14
			Lesson 3 The World's Most Bicycle-friendly City 【言語材料】 助動詞＋完了形 【言語の働き】 質問する／伝える		14
	6 7	1 学期 期 末 考 査	Lesson 4 Can You Feel Emotions in Text? 【言語材料】 動名詞 【言語の働き】 会話を続ける／伝える Reading 1 The Joker	作成プリント 単語テスト 単元テスト アウトプット発表)	14 4
夏休み 宿 題	宿 題 テスト	英単語、文法、長文、リスニング			
二 学 期	9 10	2 学期 中 間 考 査	Lesson 5 Background and Music and Sharks 【言語材料】 不定詞／seem to ... 【言語の働き】 議論する／伝える	作成プリント 単語テスト 単元テスト アウトプット発表	14
			Lesson 6 The Benefits of Play 【言語材料】 SVOOの受動態／They say that ... 【言語の働き】 議論する／プレゼンテーションをする		15
	10 11	2 学期 期 末 考 査	Lesson 7 Nursing in a War Zone 【言語材料】 分詞構文 【言語の働き】 面接を受ける／伝える	作成プリント 単語テスト 単元テスト アウトプット発表	15 17
	12		Lesson 8 Hawaii's Debate about a Sacred Mountain 【言語材料】 比較表現／従属接続詞 【言語の働き】 ミニディベート／伝える Reading 2 The Selfish Giant		5
冬休み 宿 題	宿 題 テスト	英単語、文法、長文、リスニング			
三 学 期	1 2 3	3 学期 学 年 末 考 査	Lesson 9 The Next Wave in Artificial Intelligence 【言語材料】 関係代名詞／非制限用法／複合関係詞 【言語の働き】 意見を交換する／伝える	作成プリント 単語テスト 単元テスト アウトプット発表	15
			Lesson 10 What If There Were No Moon? 【言語材料】 仮定法／無生物主語 【言語の働き】 質疑応答する／スピーチをする		15
					計 156 (4単位)
評 価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。①定期考査（各学期、年間5回）、②宿題テスト（夏休み、冬休み、年間2回）、③小テスト（単語・単元）、④パフォーマンステスト（書く、話す）、⑤提出物（宿題ノート、課題プリント、週末課題）、⑥学習の様子（授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等）				

教科名 英語科
 科目名 **論理・表現Ⅱ**
 対象 5学年全員

I 学習到達目標

日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、

- 1 ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができる。
- 2 スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話し手伝えることができる。
- 3 聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 週2時間。授業形態はクラス単位で、「発表」や「やり取り」の活動を中心に授業を行う。
- 2 年間授業数78時間
- 3 2時間中1時間は日本人教員を中心に教科書を用いて学び、1時間はALTと教科書のコミュニケーション活動を行う。

III 教科書・補助教材

教科書 FACTBOOK English Logic and ExpressionⅡ (桐原書店)
 副教材 四訂版 入試必携 英作文 Write to the Point(数研出版), Vintage 4th Edition 英文法・語法(いっずな書店),
 Vintage 4th Edition 文法編準拠確認問題集 Canvas(いっずな書店)

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授 業 時 数	備 考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト	英単語、文法、長文、リスニング	総復習	
	4	1 学期 中 間 考 査	Unit1 How should we lead a healthy lifestyle?	主語の決定 (1)	文法テス ト等
	5		Unit2 Steps we can take to Zero Hunger	主語の決定 (2)	
	5		TL1 Donating the right kind of food	目的の表現 理由の表現	
6	1 学期 期 末 考 査	Unit3 What are good and bad sides of urbanization?	時制 (1)	文法テス ト等	
7		Unit4 Is your city sustainable enough?	時制 (2) 動詞の語法		
二 学 期	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	英単語、文法、長文、リスニング		
	9	2 学期 中 間 考 査	Unit5 Which should get more priority: culture or the environment?	関係代名詞・関係副詞	文法テス ト等
	10		Unit6 How to live a plastic-free life	時間の表現	
	10		TL3 Thinking globally, acting locally	数字の表現	
11	2 学期 期 末 考 査	Unit 7 Helping others at home and abroad	仮定・条件の基本	文法テス ト等	
12		Unit 8 Challenges to equality	仮定・条件の応用		
12		TL4 The growing role of charities	比較の基本	5	
三 学 期	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	英単語、文法、長文、リスニング		
	1	3 学期 学 年 末 考 査	Unit9 Produce locally, consume locally	比較の応用	文法テス ト等
	2		Unit10 Sharing as one way to create new value	譲歩の表現	
	3		TL5 Community living, community thriving	自由英作文	
				計 78 (2単位)	
評 価	<p>学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「話す（やり取り・発表）」「書く」の2技能3領域について、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。</p> <p>①定期考査（各学期、年間5回）、②小テスト（復習テスト）、③提出物（宿題ノート、課題プリント、週末課題）、④パフォーマンステスト（書く、話す）、⑤ 学習の様子（授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等）</p>				

教科名 英語科
 科目名 HAPiE (Hakuo Academic Program in English)
 対象 5 学年全員

I 学習到達目標

1 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができる。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりすることができる。

II 授業の進め方 (授業形態等)

1 週 1 時間、クラス単位で授業を行う。
 2 1 年間の授業時数 39 時間。
 3 ネイティブスピーカーと日本人教師のチームティーチングで授業を行う。
 4 プレゼンテーション技能向上のため、さまざまな形態のパフォーマンスを行う。

III 教科書・補助教材

Present Yourself Level 2 Student's Book (Cambridge University Press)

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査			
一 学 期	4	1 学期 中 間 考 査	Unit 1: A person to admire 【Language focus】 Descriptive Speech 【Skill focus】 Effective note card & Eye contact	7	
	5		Unit 2: A great vacation idea 【Language focus】 Informative Speech 【Skill focus】 Using Power Point & Body language		
	6 7	1 学期 期 末 考 査	Unit 3: Young people today 【Language focus】 Informative Speech (Survey Report) 【Skill focus】 Making use of visual aids & Emphasizing key information	8	
	夏休み 宿 題				
二 学 期	9 10	2 学期 中 間 考 査	Unit 4: Let me explain 【Language focus】 Demonstrative Speech 【Skill focus】 Inviting questions from the audience and answering them	7	
	11 12	2 学期 期 末 考 査	Unit 5: In my opinion 【Language focus】 Descriptive Speech 【Skill focus】 Using voice effectively & Using stress and pauses	8	
	冬休み 宿 題				
三 学 期	1 2 3	9	Unit 6: In the news 【Language focus】 Informative Speech (Summary) 【Skill focus】 Varying pace by pausing between phrases	9	
				計 39 (1単位)	
	評 価	授業内の活動の取組、パフォーマンステスト、課題への取組等に基づき、「話す (発表)」「書く」の 2 技能を「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の 2 つの観点から総合的に評価を行う。			

教科名 英語科
 科目名 コミュニケーション英語Ⅲ
 対象 6学年全員

I 学習到達目標

日常的・社会的な話題について、支援をほとんど活用しなくても、
 1. 必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。
 2. 必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。
 3. 多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させることができる。また、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができる。
 4. 多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができる。
 5. 多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができる。

II 授業の進め方（授業形態等）

1. 週4時間授業を行う。授業形態はクラス単位でペアワーク・グループワークを中心に、バランスの良い四技能の育成を目指す。
 2. 1年間の授業の数156時間。

III 教科書・補助教材

教科書 「Enrich Learning English CommunicationⅢ」東京書籍
 補助教材 「ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION III WORKBOOK III」 (東京書籍)
 「Cutting Edge Blue」 (エミル出版)
 「共通テストリスニング分野別 10分 三訂版」 (エミル出版)
 「2024年受験用 大学入学共通テスト〔英語（リーディング）〕対策オリジナル問題集 Reading 40」 (いっぴな書店)
 「2024年受験用 大学入学共通テスト〔英語（リスニング）〕対策オリジナル問題集 Listening 30」 (いっぴな書店)

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容			
一 学 期	春休み					
	4	1 学 期 中 間 考 査	Unit 1 What thinking and study habits can help us succeed? 【言語の働き】似た経験を述べ合う、言い換える	Cutting Edge Blue (Ch1-5) 作成プリント 単元テスト	13	
	5		Unit 2 How can we use AI to improve education? 【言語の働き】希望を述べる、賛成する、疑念を示す		13	
	6	1 学 期 期 末 考 査	Unit 3 What do folktales tell us about human values? 【言語の働き】意見を受け止める、別の意見を述べる	Cutting Edge Blue (Ch6-9) 作成プリント 単元テスト	15	
7	Unit 4 What items would you place in a time capsule? 【言語の働き】 賛成・反対する、提案する			15		
二 学 期	夏休み					
	9	2 学 期 中 間 考 査	Unit 5 What are the rewards and challenges of living in a different culture? 【言語の働き】理由を述べて断る	Cutting Edge Blue (Ch10-14) 作成プリント 単元テスト	13	
	10		Unit 6 How can art be made accessible to all? 【言語の働き】相手の発言を訂正する		14	
	10	2 学 期 期 末 考 査	Unit 7 How can we preserve life below water? 【言語の働き】勧める、断る、理由を尋ねる	Cutting Edge Blue (Ch15-18) 作成プリント 単元テスト	16	
11	Unit 8 Is there anything money can't buy? 【言語の働き】提案する、意義を示す			17		
三 学 期	冬休み					
	1 2	3 学 期 学 年 末 考 査	共通テスト問題演習(リーディング) 共通テスト問題演習(リスニング)		40	
				計 156 (4単位)		
評 価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ①定期考査（各学期、年間5回）、②小テスト（単語・単元）、③パフォーマンステスト（書く、話す）、④提出物（宿題ノート、課題プリント、週末課題）、⑤学習の様子（授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等）					

教科名 英語科
 科目名 論理表現Ⅲ
 対象 6学年全員

I 学習到達目標

日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても

1. ディベートやディスカッションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張、課題の解決策などを、聞き手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができる。
2. スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張などを、聞き手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができる。
3. 複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張などを、読み手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。

II 授業の進め方（授業形態等）

1. 週2時間、クラス単位で授業を行う。
2. 1年間の授業時数は78時間である。
3. 補助教材を使用して授業を行う。

III 教科書・補助教材

教科書 「FACTBOOK English Logic and Expression Ⅲ」 桐原書店
 補助教材「アップリフト 英文法 ランダム演習700」 (Z会)
 「Write to the Point」 (数研出版)

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	春休み				
	4	1 学期 中 間 考 査	Unit 1 Future of jobs in the AI era	・ Write to the point	6
	5		Unit 2 How have you grown as a person in your high school life?		7
	6	1 学期 期 末 考 査	Unit 3 How do people use different types of media?	・ Write to the point	7
7	Unit 4 3R approach in order to save the environment		8		
	夏休み				
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	Unit 5 Moving toward a cashless society	・ Write to the point ・ アップリフト 英文法 ランダム演習700	7
	10		Unit 6 Are food additives really bad for us?		7
	10	2 学期 期 末 考 査	Unit 7 Japanese culture attracting people all over the world	・ Write to the point ・ アップリフト 英文法 ランダム演習700	5
11	Unit 8 Will we live in a decarbonized society in the future?		6		
	冬休み				
三 学 期	1	3 学期 学 年 末 考 査	総復習・問題演習	大学入試対策問題演習	20
	2				
				計 78 (2単位)	
評 価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「話す（やり取り・発表）」「書く」の2技能3領域について、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ①定期考査（各学期、年間5回）、②小テスト（復習テスト）、③提出物（宿題ノート、課題プリント、週末課題）、④パフォーマンステスト（書く、話す）、⑤ 学習の様子（授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等）				

教科名 英語科 (総合的な学習の時間との連携)

科目名 HAPiE (Hakuo Academic Program in English)

対象 高校第3学年全員 (6年生)

I 学習到達目標

- 1 英語での発信力を高める (Writing & Speaking(発表))
- 2 アカデミックなレベルでの資料や引用をしてプレゼンテーションを粉うことができる。
- 3 アカデミックなレベルでの複数段落で構成されたエッセイを基本的なフォーマットに沿ってかくことができる。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 ALT一人に対し生徒13人となるよう1クラスを3分割した少人数指導でWriting & Speakingに取り組む (習熟度ではない)

III 教科書・補助教材

Hakuo Academic Essay Handbook (大学生のためアカデミック英文ライティング: 大修館書店をもとに作成)
Present Yourself Level 2 Student's Book (Cambridge University Press)

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	4	1 学期 中 間 考 査	Introduction コースの目的の理解 Essay Writing の基本	Present Yourself Level 2 Hakuo Academic Essay Handbook	3
	5	考 査 実 施 せ ず			4
	6	1 学期 期 末 考 査	Academic Essay Academic Presentation	Present Yourself Level 2 Hakuo Academic Essay Handbook	4
	7				
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	Academic Essay Academic Presentation	Present Yourself Level 2 Hakuo Academic Essay Handbook	3
	10	考 査 実 施 せ ず			
	10	2 学期 期 末 考 査	Academic Essay Academic Presentation	Present Yourself Level 2 Hakuo Academic Essay Handbook	2
	11	考 査			4
	冬休み	宿 題			
三 学 期	1				1
	2				(21)
			実質、1学期と2学期で授業終了 (3学期自宅学習期間となるため)		計 35 (1単位)
評 価			①授業内で行うプレゼンテーション・エッセイライティングに基づき、「話す(発表)」「書く」の2技能を「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の2つの観点から総合的に評価を行う。		